

新大

キャンパスライフをもっと豊かに

広報

| 特集 |

これで攻略！新大の1年

Interview!! 自分の居場所 学生編／卒業生編

教えて! あなたのゼミ・研究室 農学部 三ツ井 敏明 教授

チャレポ!!(Challenge & Report) 管弦楽団

ひとりdeli チキンチーズロールキャベツ



No.226
[2023年 春号]

これで攻略!

新大
Niigata University

1年



Spring

春は1年の中で降水量が比較的少ない時期です。日照時間も多い時期になり最高気温と最低気温の差が8°C以上になることもあります。出かけるときは薄めの長袖や半袖の服を着るところが多いと思います。ただ、急な雷雨や強風に見舞われることもあります。肌寒いときに羽織れるものがあると良いかもしれません。折り畳み傘の携帯もお忘れなく!



2023年度(令和5年度)がスタートしました!

新入生の中には新しく始まる新潟での生活に不安を感じている人もいるのではないかというか? 今回は新潟大学の行事と合わせて、新潟の1年がどのようなものなのか紹介していきます。

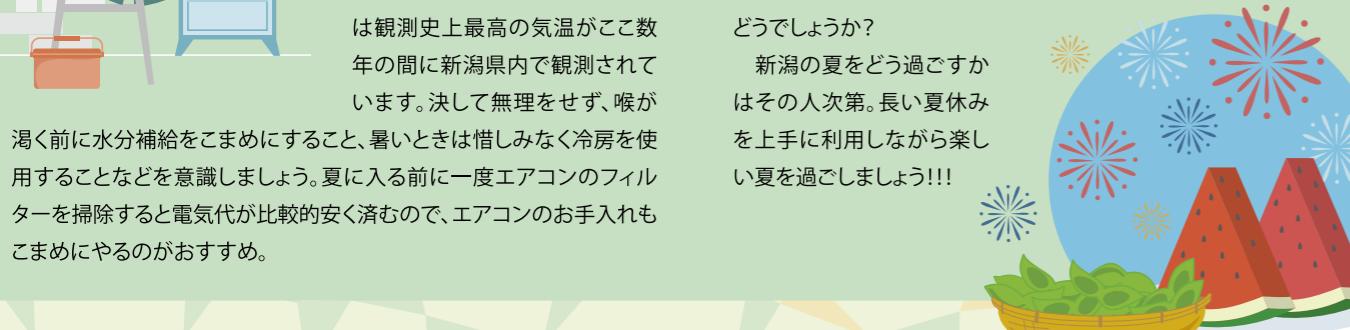


Summer



大学の枠を飛び出して新潟の夏についても見てみましょう。まず、気候としては非常に暑くなります。気象庁が発表する最高気温のランキングでは、8月は上位にランクインし、9月・10月に至っては観測史上最高の気温がここ数年の間に新潟県内で観測されています。決して無理をせず、喉が渴く前に水分補給をこまめにすること、暑いときは惜しみなく冷房を使用することなどを意識しましょう。夏に入る前に一度エアコンのフィルターを掃除すると電気代が比較的安く済むので、エアコンのお手入れもこまめにやるのがおすすめ。

新潟の夏を象徴するイベントといえば、各地で開催される花火大会が挙げられます。特に、日本有数の花火大会と言われる長岡花火が代表的です。新潟の食としては、枝豆が旬の野菜ということで消費が盛んになります。大学付近のスーパーマーケットにも夏になると大量の枝豆が売られているのを目にするでしょう。この夏は花火を見ながら美味しい枝豆を食すというのはどうでしょうか?



新潟の夏をどう過ごすかはその人次第。長い夏休みを上手に利用しながら楽しむ夏を過ごしましょう!!!

Campus Life

入学式・ガイダンスが終り、第1タームに入ると新入生歓迎(新歓)の活動が本格的に始まります。新歓時期には活動内容を知ることができだけでなく、先輩や他の新入生との交流も増えるので友達作りもできます。そして活動終わりにはご飯をおごってもらえることも…!



また最初に迎える週末には「黎明祭」が開かれます! 黎明祭では各部活・サークルがたくさんの新メンバーに来てもらおうと部活・サークル紹介を行います。いろいろな部活・サークルを1日で知るチャンスです。気になる活動が多い人は参加してみましょう。

そんな忙しいこの時期に心を穏やかにしてくれるのが桜です。新潟では平均して8日に開花、13日に満開となり、新生活の始まりをより明るくしてくれます。キャンパス内にもあるので移動中に少し立ち止まって見るのもいいかもしれません。一方でこの時期は花粉が多く飛んでいます。スギは3月いっぱい、ヒノキは4月中旬を中心にピークを迎えるので花粉症の方は特に注意してください!

Winter

12月に入るとついに新潟も冬本番。寒さに加えて雪が降り始めます。

昨年は大雪で電車が止まるほか、細い道が埋まり、そのせいで車が各所でスタックするなどの被害が出ていました。雪の影響で授業がオンラインになることもありました。



卒業式 春期休業

3月



Campus Life
春休みが高校以前に比べて非常に長いので、バイトや帰省など様々なことが出来ます。(なお、例年3月下旬くらいからひつそりと履修登録期間が始まり、ガイダンスの連絡がたくさん来るようになるのでこまめな情報収集を!)

2月

1月
冬期休業

第4ターム
開始

12月
4日



生活のポイント

防寒をしっかりしよう!

気温が氷点下まで下がることもあります。冬服の用意はしっかりと。降雪に耐えられる長さの防水靴は必須。凍結することもあるので、滑り止めの付いているものがおすすめです。

スタッフ感想
新入生の皆さんにとってはきっと初めてのことだけの大学生活に、少しでも寄り添えたらいいなということで本号はこのような企画になりました。在学生の皆さんも昨年までのことを思い出しながら読んでもらえると嬉しいです。

Autumn

新大祭が終わるともう11月です。初めて新潟で過ごす1年生の皆さんも、そろそろ生活に慣れる頃でしょう。これから新潟は長い冬を迎えます。

1人暮らしの方は特に、雪の中でも生活できる準備を整えましょう。新潟大学周辺は狭い道路が多く、雪で埋もれて通れなくなることもあります。雪が降る前に、自分の生活圏の中にそのような場所がないか、確認してみましょう。もちろん、長靴や冬用ブーツ、防寒具などの準備もお忘れなく。



コロナ前の様子

11月



コロナ前の様子

10月
3日

秋季入学式
ガイダンス

第3ターム
開始

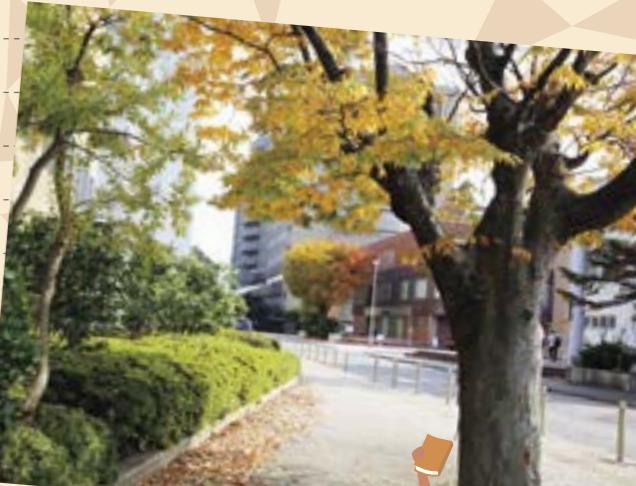
Campus Life

長い夏休みが終わると10月から第3タームが始まります。2022年度の第3タームは新型コロナウイルスによる規制が緩和され、対面授業が少しずつ復活してきました。キャンパスの木々が色づき始め、夏の暑さも和らいできますので、勉強はもちろんのこと、サークル活動などにも精が出る季節ですね。



そんな10月下旬から11月上旬に、新潟大学きってのビッグイベント、新大祭が開催されます! サークルや団体ごとに夏休みから準備を始め、当日は各種ライブやダンス、トークショーや各種展示、模擬店販売などが行われます。一般の企業様の出店もあります。学生はもちろん、小さなお子様から一般の方々まで多くの人たちで賑わいますよ。

(2022年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学生、教職員のみ参加可能)



03

「自分は何かを成せるのではないか」という「勘違い」が今をつくる

一人一人が進めるSDGsのプロジェクト



— 結成の経緯と活動内容を教えてください。

SDGsみらい研究会結成のきっかけは、創生学部で開講されているフィールドステディーズという講義です。講義内容は新潟の企業と連携して課題解決をするというもので、そこで福祉用具のレンタルとSDGsを掛け合わせた課題を提示していました。企業に出会いました。その課題のために作られたグループは、チームビルディングが上手くできていました。「この講義だけで終わらせるのはもったいない」と思い、教員にも後押しされてスタートしました。活動としては、Slack这样一个ツールを用いてSDGsに興味のある学生や社会人を集め、誰でも自由にプロジェクトを立ち上げられる場所を作っていました。また、そこでプロジェクトが生まれるようにはサポートすることもメインの活動として行っています。



取材中の様子

創生学部3年 奥村 泰至さん

●出身：石川県金沢市
●好きなこと：写真撮影、小説を書くこと
●新大の好きな場所：
西門に抜ける駐車場横にある木々の隙間から光が差し込む場所



イベントでの集合写真(左端が奥村さん)

は5～10人です。また、SDGsみらい研究会には代表者を設けていません。これはSDGsの「誰一人取り残さない」という理念によるものです。無知な学生が少人数でマネジメントするよりも分散型の組織にする方が今後の成長に繋がり、学生にも合った方法であるという理由もあります。

印象に残っている活動やこれから予定しているプロジェクトはありますか？

印象に残っている活動は、様々な学生団体の代表として東京ビッグサイトでブースを出展したことです。そこでこれまでの活動報告や今後の活動に向けて企業に宣伝をしたり挨拶を交わしたりしました。昆虫食を研究している企業と新潟大学の「いきものサークルふかみどり」と連携した活動や、買い物弱者や移動販売の課題解決を目指す新潟の福祉関連のグループを見学させていただいた活動などを報告しました。SDGsみらい研究会

会は何ができるのか」「その活動は利益に繋がるのか」といった厳しい質問も受けました。しかし、自分たちの社会での立場を考えるようになったことに加え、スポンサーとの交流や金銭面の学びを得ることもでき、良い経験となりました。今後の活動については、瀬波温泉の地域活性化プロジェクトがあります。初めはTwitter等を用いて全国に向けての活



ブース出展の様子

『やってみる』行動力で想いを形にする

—活動の魅力を教えてください。

「大学に入ったからには何かを成し遂げたい」という思いがあつても、既存の大學生のプログラムやボランティアなどに落ち着くことが多いと思います。しかしSDGsみらい研究会では、「自分は何か新しいことができるのではないか」という「勘違い」を試すことができます。そのような思いから自分のふわふわしたアイディアをSlackで投げかけると、社会人の方のリアクションを受けて実際にプロジェクトが動じて形になっていきました。その過程を見ることができることは、怖いながらも魅力的なところだと感じています。

—これからの目標を教えてください。

人から期待されること、自分ができること、自分がやりたいことは全て違います。そのため、活動を続けるうちに自分ができることがあります。そのことを人から期待されることに近づけてしまい、自分のやりたいことを見失ってしまいます。残りの学生生活は自分のやりたいことに敏感に、素直になつて、やりたいこと出来ることを重ね合

—新大生へのメッセージをお願いします。

1年生の頃の自分に言葉をかけるとすると、許されていることの多さを伝えたいです。受験を経た皆さんには自分に制約をかけることに慣れてしまっていると思いますが、意外にも人生で実行できることは多く、どんなことも可能だと考えていています。自分の行動に責任をもつことが社会に出していくことだと思います。立ち止まつた時には本当に不可能なかもう一度考え、実際に取り組んでみるとよいと思します。



撮影時のマスクを外しています。

スタッフ感想

やりがいやこれからの目標など、活動への想いを強く感じました。自分の考えを持ち行動に移す奥村さんの姿に刺激を受け、行動してみると、実際に取り組んでみるとよいと思いました。地域活性化プロジェクトなど、これからSDGsみらい研究会の活躍に注目です。

大学生活を送るうえで、やりがいや目標を持つて活動している、輝く新大生を紹介する「一人一人」。今回は、今話題のSDGsに関する活動を行っている「SDGsみらい研究会」の立ち上げメンバーの一人、奥村泰至さんにお話を伺いました。

自分の居場所 卒業生編

●法学部卒業

千葉仁さん

将来どんなことをしたいか迷っている新大生に向けて、社会で活躍する卒業生から話を聞き紹介する「」の「」。今回は法学部卒業生で現在、合同会社レンズで活躍する千葉仁さんにお話を伺いました。



プロフィール
千葉 仁さん
チバ ヒトシ

宮城県出身。新潟大学法学部卒業。在学中より手塚真監督に師事し、自主製作映画を撮るほか、国内や海外の映画の現場に携わる。2017年よりフリーランスとして活動し、2022年に合同会社レンズを設立。インタビュー動画、プロモーションビデオの撮影・監督に定評がある。

人との出会いを大切に



※撮影時のみマスクを外しています。

現在のお仕事の内容について

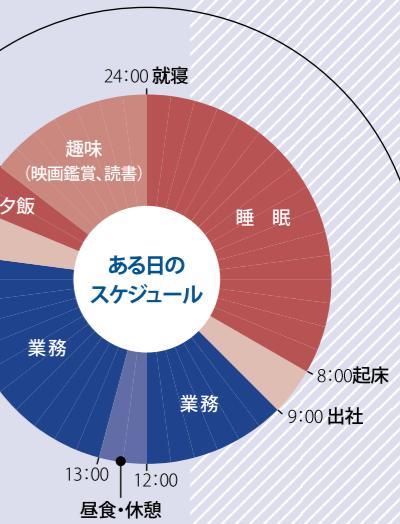
法人の方々に向けてテレビCMやウェブCM、プロモーションビデオの企画・制作を行っています。その他にもイベントのディレクターや事務局の運営、カメラマン、動画編集、経営者として方針を決定することなど、幅広い業務を取り扱っています。

仕事を選んだきっかけ

就職活動で自分が本当にしたいことは何かについて考えたとき、映像が好きなことや自分自身が何かもやもやしたことなどを表現したい人間である



仕事中の様子



やりがいを感じる瞬間

お客様から「これだよこれ」とか「こうの欲しかったんだよ」と言つても、いつの欲しかったんだよ」と言つても、いつの時がとても嬉しいです。自分の実力を感じられる瞬間でもある。僕みたいに企画から納品まで一人でやつている立場の人間としては、自分の商品の価値がちゃんと認められるといつのはとても嬉しいことです。若さが理由で侮られることもあります、そんな時に作品の出来上がりで認めてもらひ、自分に対する評価をガラツと変えることができるのはすごく楽しいです。

大学時代の経験

学生団体の活動などに参加していました。その学生団体には30代、40代の起業家の方たちもいたので学生時代からずっと大人の方たちと関わってきました。いきなり社会人になつて人脈をつくろうとしても、組織や部署、会社で見られて相手にしてもられないことがあるんですよ。でも学生時代に培つた人脈のおかげで、僕が成長し、会社が大きくなってきたときにお付き合いいただけるパートナーが増え、交渉しやすくなっています。人脈もそうですが、もやもやした気持ちを発散したいという気持ちで映像を作ってきた経験が現在の職業にしてしまつて、上映まで漕ぎ着け立ち見が出るくらい多くの人に観に来てもうえました。部員みんなが楽しんでくれているかという点で不安を感じないこともあります。この経験が今の原点です。



インタビューの様子

どんな大学生活をおくっていたか

(新潟での学びサークル活動アーラバイト等)

映画俱楽部という部活に所属していました。部長になった際には手塚真監督に直接アポイントメントを取つたり、他大学の学生に声をかけたりして映画制作合宿を企画しました。その後も手塚監督から脚本や企画に対して指導をしていただき、上映まで漕ぎ着け立ち見が出るくらい多くの人に観に来てもうえました。部員みんなが楽しんでくれているかという点で不安を感じないことがあります。この経験が今の原点です。

学部の勉強は最小努力の最大効果を目指によく図書館に引きこもつて一人で勉強していました。学んだことは今でも使うことがあります。

自分が大切にできる人をつくるください! その人と関わる中で、言葉の伝え方であったり自分がどういう人間なのかといったことを知ることができます。また、たくさん恋愛してください。感情的になったほうがいい場面とそうでない場面のバランスのとり方など、恋愛をすることで人として大切なものを学ぶことができます。そしてこれらの経験は仕事にも活きてきます。

新大生へのメッセージ

自分が大切にできる人をつくるください! その人と関わる中で、言葉の伝え方であったり自分がどういう人間なのかといったことを知ることができます。また、たくさん恋愛してください。感情的になったほうがいい場面とそうでない場面のバランスのとり方など、恋愛をすることで人として大切なものを学ぶことができます。そしてこれらの経験は仕事にも活きてきます。

「スター・ツーフ・感・想」

インタビューを通して、千葉さんの独特な視点や考え方を知ることができ、自分にとって新たな価値観が生まれたように感じました。特に、「大切な人を作る」と、恋愛をすることで人として大切なことを学べるという点が印象に残っています。千葉さんの学生時代のお話などもしてくださりました。(角)

新大の好きな場所 図書館

図書館です。挫折を味わつたときや進路に悩んだとき、本を読めば先人たちのアドバイスが無料で貰えるので重宝していました。毎日5、6冊ほど読んでいました。

これから の目標

保守的なものが合わない、革新的な人が生きやすい「避難所」のような会社にしていきたいと思っています。そのような場所をつくる活動を通して、人に愛される人格者として成長していくことです。

インタビューを通して、千葉さんの独特な視点や考え方を知ることができ、自分にとって新たな価値観が生まれたように感じました。特に、「大切な人を作る」と、恋愛をすることで人として大切なことを学べるという点が印象に残っています。千葉さんの学生時代のお話などもしてくださりました。(角)

農学部

応用生命科学プログラム
生物化学研究室

三ツ井 敏明 教授
ミツイ トシアキ

プロフィール／大阪府出身。名古屋大学大学院農学研究科生化学制御専攻博士後期課程修了。専門は植物生化学・応用分子細胞生物学。2008年から新潟大学自然科学系大学院自然科学研究科主担当。



お米の品質を調べる機械にお米を入れる様子

この研究室では
どのようなことを
行っていますか？

基本的にはイネの研究を行っています。イネにおけるデンプン代謝やデンプンの分解のメカニズムをベースに様々な研究を行っていて、学部生も大学院生もイネを中心とした研究活動に取り組んでいます。特にイネのα-アミラーゼという分泌酵素の応用が細胞の中の小器官でも働くことを発見しました。そしてこれが高温によるお米の品質低下に関わっているのではないかと考え、現在は基礎研究から徐々に応用分野へと繋げ、高温に強い新しいイネの開発等に取り組んでいます。

この研究室で
大事にしていることは
何ですか？

積極性を大事にしています。基本的に学生には積極的に研究に取り組んでほしいと考えています。現在、新

型コロナウイルスの影響で研究もコロナ禍になっていて、積極性が落ちていると感じます。今後コロナが終息していくにつれて、学生と教授間はもちろん、先輩や後輩との学生間のコミュニケーションも増やしていくってほしいと思います。学生にはこのようにしっかりと「コミュニケーションを取つて実験・研究に取り組んでほしいです。



※撮影時のみマスクを外しています。

この研究室では
どのようなことを
行っていますか？

印象に残っています。この発見により、通常はお米をつくるところにデンプンを分解するα-アミラーゼが働き、お米を作りながら分解する可能性が浮かび上りました。そしてそこからヒントを得て、高温によるα-アミラーゼの発現の高まりを抑えてやることでお米の品質を維持・向上するというアイデアが生まれたわけですが、これは彼の独創性の高い研究による新しい発見からつながっています。

先生の学生時代について
教えてください。

私が学生だった頃も学位を取つて職に就くのは難しかったですが、周囲もそうだからと今よりかはあっけらかんとしていた気がします。ある意味夢があつたともいえるでしょう。そういった時代背景に加え、研究自体がとても面白かったのでそのまま大学院へ行って学位を取り、現在に至ります。職に就くと研究テーマが変わることもありますが、幸運にも早い段階で新潟大学に赴任でき、また当時の教授が好きなことをしなさいと仰ってくださったので、そのまま大学院で行っていた研究を続けました。大学院では運命的にもイネのα-アミラーゼの研究を行っており、現在の研究も大学院で行った研究の延長線上にあります。辛いこともあります。



パソコンで新潟県刈谷村にある実験施設の状態を見ている様子

印象に残っています。この発見により、通常はお米をつくるところにデンプンを分解するα-アミラーゼが

たが、このような学生時代が身を結び、今回「コシヒカリ新潟大学NU1号」という新品種を開発できて本当に良かったと思います。

新大生へのメッセージをお願いします。

私は新潟の四季折々の田園風景が大好きです。水が張って太陽光を反射する一面鏡のようになる田植えの時期の水田、緑の絨毯で敷き詰められているような夏の水田、黄金色に染まる秋、雪で銀世界に変貌する冬など、新潟の田園風景は一年を通してとても綺麗です。また、新潟大学ではSDGsに関する様々な取り組みが行われています。私たちも気候変動下の地域として世界のSDGsに貢献すべく、コメをキーワードに学内外の研究者と連携して、新しいイネ品種の開発や環境調和型の農法の確立に向けて研究を行っています。ぜひ、皆さんにも豊かな自然と風土に育まれた素晴らしい新潟の米づくりと一緒に応援していただきたいです。



※撮影時のみマスクを外しています。

三ツ井研究室 研究室生に聞いてみました！

どのような活動をなさっているのですか？

- 酒米に異なる遺伝子を導入して、高温に強い稻を作る研究を行っています。

この研究室を選んだきっかけは何ですか？

- 実家が農家で小さいころからお米に親しみがあり、お米に関する研究がしたかったので選びました。
- どの研究室に行くか迷い、さまざまな研究室の見学に行つたのですが、三ツ井研究室は研究室が広く設備も整っており、いろいろなことができそうだと思い選びました。

研究室の雰囲気を教えてください。

- 学年関係なく仲が良いので、コミュニケーションが取りやすいです。実験中に困ったことがあったときはすぐに先輩に聞くことができて、学ぶ環境が整っていると感じています。

この研究室で得られたことは何ですか？

- 新型コロナウイルスの影響でやりたい研究ができない日々が続きましたが、その経験が忍耐力や体力につながったと思います。少しずつ日常に戻りつつある今、自分がやりたいことを考えて三ツ井先生にアプローチしなくては、実行につながりません。自分から発信する力が身についたと感じています。
- 対象が植物ということもあり、人間都合で実験を進めるというわけにはいきません。計画を立てても、うまくいかないことが多い中で、対応する力やアドリブ力を得ることができたと思います。

スタッフの感想

- 先生や研究室生の方々が取材を快く引き受けください、たくさんのお話を聞くことができました。「コシヒカリ新潟大学NU1号」のマーケティングやブランディングも行っているということで、農学のことだけでなく多くのことを学ぶことができるゼミだと感じました。(桑島)

意外と知らない?!
他大学との関わりが多い管弦楽団!

通称「おけら」として知られている新潟大学管弦楽団さん、実は、五十嵐キャンパス・旭町キャンパス以外にも新潟県立大学・新潟青陵大学の学生さんなど大学の枠を超えて構成されています。コロナ禍以前は他県の大学と合奏したり、演奏会を開いたりすることもあったそうです! 人との関わりが
多いのも管弦楽団



管弦楽の最大の魅力とは…!

きなメリットであ ると感じました!	オーケストラの曲は一曲40分～1時間あり、それを 100人以上の団員がステージ上で一緒に作り上げます。 演奏し終えた後に観客からもらえる拍手のは とてつもない喜びと達成感を感じさせてくれるそうです。それは 日々の練習の苦労や努力があるからこそ感じられるものだ と思いました!
----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

身につくのは音楽だけではない!

管弦楽団では個人の練習や、団員の皆と集まった時の音楽面での話し合い、合奏などによって音楽技術を向上させることができます。ですが、それだけではありません!特に執行部の方々は部活や演奏会の運営・日程調節を自分たちで行い、新しい顧問の先生や外部の方との打ち合わせ・連絡など幅広いお仕事があるようです!そして人数が多いので団員皆と協力して取り組む力も必要になります。大きな組織であるからこそその難しさ、楽しさを学べる部活動でした!



広報学生スタッフが、新大の部活・サークル活動にチャレンジ! レポート!

てチャレポ!! 今回は新潟大学管弦楽団さんを取材しました♪

・湯大学管弦楽団へようこそ！



Challenge 8

Report

サークル情報

- 数：100人
日時：水・金 18:00~21:00
場所：新潟市音楽文化会館
itter: @okeraniiigata

Q 活動内容を教えてください。



活動内容を

Q 初心者の割合はどのくらいでしょうか?

Q 演奏会や各種イベントなどはどのくらいの頻度で行っているのですか？

演奏会は年に2回あります。12月に定期演奏会を行い、6月下旬から7月上旬にサマー・コンサートを行います。また、小学校で訪問演奏をしたり、学祭や新歓で演奏を行ったりしていたのですが、コロナ禍に伴い、そういう活動が私たちの代ではなくなってしま



活動が私たちの代ではなくなつて
まいりました。

Q 演奏会や各種イベントなどはどのくらいの頻度で行っているのですか？

Q 管弦楽団の特徴を教えてください。

管弦楽団は受け入れがかなり広い部活です。過去に吹奏楽をしていた人や、小さいころからバイオリンをやっている人もいれば、最初は楽譜も読めず、大学から始めた人もいます。さまざまな人がいますが、集まって何かをするというのが好きな人たちが多いです。こういった人たちが一緒に引っ込んで演奏するのです。

Q 演奏する楽器は自分で選ぶのですか？

はい、基本的にはそうです。ただ、入部してから希望する楽器を聞くのですが、毎年偏りが出てしまうのです。なので人数調整をしながら担当する楽器を決めます。オーディションのような形にはなってしまうのですが、大学の楽器にも限りがあるため、その辺りは兼ね合いを取りながらやつて

Q 管弦楽団の特徴を教えて、どうぞ。

Q 演奏する楽器は
自分で選ぶのですか？



Interview!! 自分の居場所

ー学生編ー

P.05>

今回はSDGsみらい研究会代表の奥村さんにインタビューしました。本文で出てきた、昆虫食を研究している企業と「いきものサークルふかみどり」との連携活動では、野生生物を捕まえて昆虫食パーティーをしたそうです。SDGsの理念に向かってアクティブに動くみらい研の今後の活動にも期待です!

Interview!! 自分の居場所

ー卒業生編ー

P.07>



千葉さんは、映像系のお仕事だけでなく、オフィスで古着屋さんも営んでいらっしゃいます。店内も千葉さんが自身もおしゃれで素敵なお雰囲気でした。来店されたお客様に服を選んでいるそうで、今回取材した際にも数着のお洋服を合わせていただきました。普段自分で選ばないようなお洋服を着て、新鮮な気持ちになれました。



教えて! あなたのゼミ・研究室

農学部 三ツ井 研究室

P.09>

三ツ井先生は取材に非常に積極的に参加してください、わざわざインタビュー資料まで作っていただきました。研究室生と先生の距離が近く、記事の通り、積極性とコミュニケーションを先生と研究室生全員が大事にしているのだと感じました。

学生スタッフ

工学部3年 落合 駆	人文学部2年 清野 菜月	法学部1年 山崎 玲音	農学部1年 畠 くるみ	人文学部2年 長澤 真佳	人文学部1年 渋谷 ののか	法学部1年 櫻井 瑞希	農学部1年 池津 円花	学生支援課 小林 理子
人文学部2年 長峰 ひかる	人文学部1年 桑島 花音	法学部1年 星野 柚	創生学部1年 高村 紗鞠	人文学部2年 間 俊太朗	人文学部1年 今野 花菜	法学部1年 角 梨々華	創生学部2年 羽賀 来夏	広報室 反町 優里
人文学部2年 鈴木 明莉	人文学部1年 石川 裕太郎	工学部2年 岩見谷 蒼太	創生学部2年 石綿 愛菜香	人文学部2年 海野 夏輝	教育学部2年 丸田 勝大	農学部1年 市岡 春亞		

本紙掲載の表示学年は、すべて2023年3月現在のものです。

職員スタッフ

学生支援課 小林 理子
広報室 反町 優里

このコーナーでは、新大生のための簡単なレシピや食に関するお役立ち情報をご紹介します。今回は春が旬のキャベツを使った、ロールキャベツのレシピをご紹介! 「春眠曉を覚えず」とは言いますが、布団に包まる前に、食材をキャベツで包んでみませんか?



チキンチーズ ロールキャベツ



材料(1人分)
鶏むね肉……………150g…125円
キャベツの葉※……………2枚 …6円
スライスモッツアレラチーズ……………2枚 …57円
水……………300ml
(A)コンソメ顆粒…大さじ1/2 …26円
(A)ケチャップ………大さじ1 …11円
砂糖……………小さじ1/4
塩こしょう……………少々
酒……………小さじ1 …1円
パセリ(乾燥)……………適量

(参考価格) 約226円

かんたんレシピを紹介!



※外側の葉は乾燥している場合があるので
2、3枚ほどはがして内側の葉を使いましょう



コラム

エコバッグの大部分を占めてしまうキャベツ。購入を後悔させないためにも今回はキャベツの実用的な知識をお届け! まずはキャベツの選び方。あらゆる農作物には固有の葉っぱの出方、規則性があります。おいしいキャベツは下から見ると、軸から分かれるそれぞれの葉の芯の頂点を結んだ形がきれいな五角形になっています。また、余ってしまったキャベツは、芯の中心を包丁でくりぬき、湿らせたキッチンペーパーを芯にあて、そのままラップに包んで冷蔵保存すると長持ちします。ぜひお試しあれ!

編集後記

今号では、新潟の一年を特集しました。大学についてはもちろん、新潟での生活全般について取り上げており、新大生の生活ガイドブックのようになっています。新たなスタートを切ることの多いこの季節、今号が皆さんのスタートを手助けできれば嬉しいです。

新大広報編集長 丸田 勝大

厳しい冬を乗り越え、暖かな春を迎えようとしています。今号の特集は『新大の1年』です。年度初めは不安もワクワクする気持ちも大きくなりますが、この記事を読めば、やりたいことが決まって準備も渉りそうですね。今年度も新大広報があなたの手助けになることを願っています。

新大広報副編集長 長澤 真佳



公式Twitter

もっと新大広報を知りたいあなたに! 新大広報公式ツイッターアカウントを紹介!

紙面に載せきれなかった取材の裏側や、制作の様子を随時、つぶやいていきます。

さらに、動画もツイートしています!

ぜひ、フォローしてください♪



新大アプリ始めました!



iPhone



Android

本紙掲載の表示学年は、すべて2023年3月現在のものです。

個人情報の取扱いについて

- 新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。
- アンケートや誌面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。

2023年 春号 [No.226]

2023年3月発行

編集・発行／『新大広報』学生スタッフ
新潟大学学務部・新潟大学広報室
印 刷／株第一印刷所



私たちと一緒に新大広報を作りませんか?

新大広報では随時、学生スタッフを募集しています。企画から、取材、記事の作成、編集まで学生が主体となって活動しています。



<応募方法>

- ①学部・学年・学籍番号・氏名、
- ②「学生スタッフ希望」と書いて送信してください。

新大広報編集室

nu-press@adm.niigata-u.ac.jp

新大広報 Back Number

新大広報のバックナンバーは新潟大学ホームページで公開しています。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

新大広報

検索



Follow us!

新大広報公式
Twitter



新潟大学公式SNS



Twitter



Instagram



Facebook

新潟大学ホームページ <https://www.niigata-u.ac.jp/>